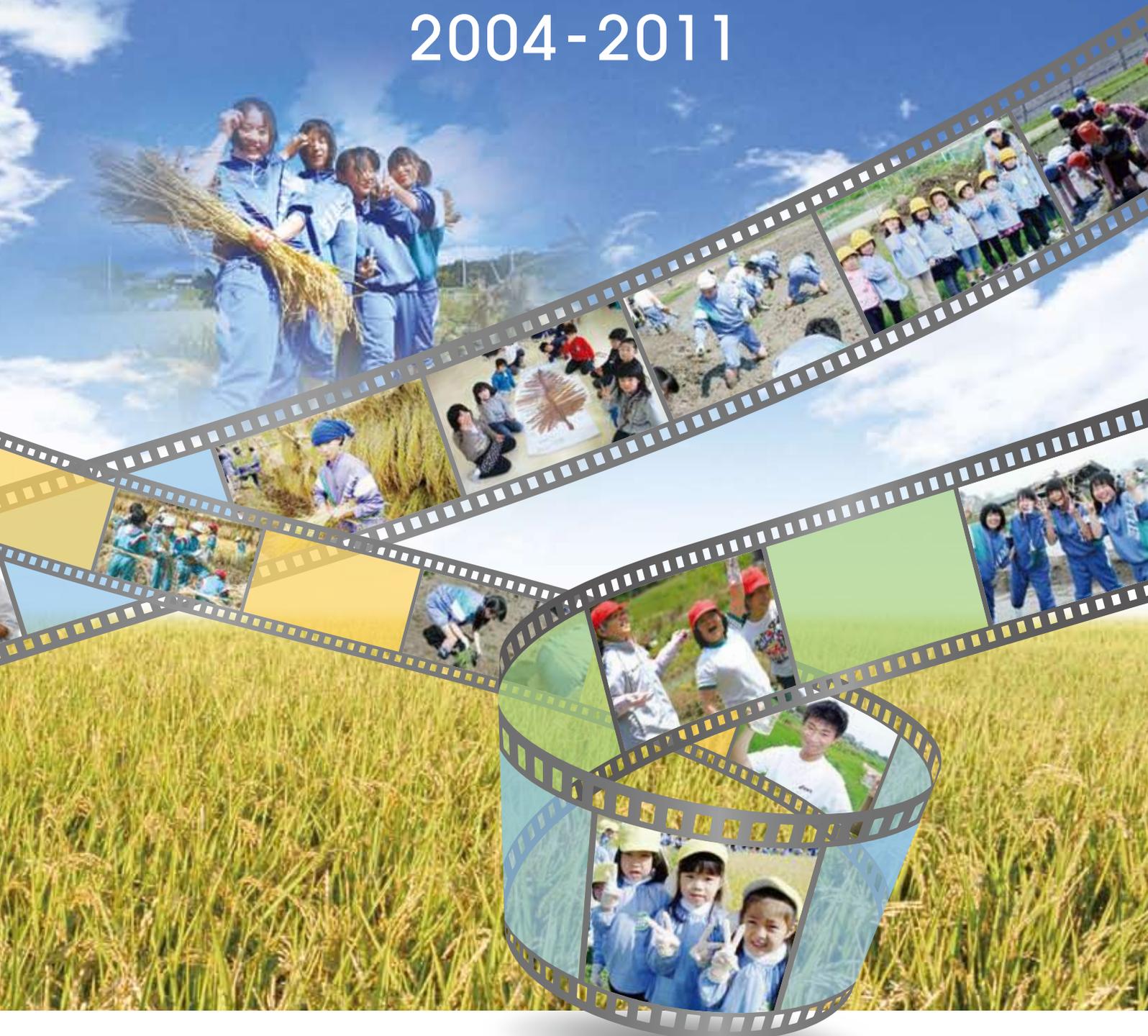


Ohya Hummingbird Project

大谷幼・小・中 連携

大谷ハチドリ計画

2004-2011



気仙沼市立大谷幼稚園 気仙沼市立大谷小学校 気仙沼市立大谷中学校



Contents

1. 大谷ハチドリ計画とは何か …… 02
 1. ハチドリ計画が始まる
 2. 大谷の自然と暮らしを学ぶ
 - 1 松枯れ — 山と林業
 - 2 磯焼け — 海と漁業
いまこそ自然に寄り添う漁業へ — 谷口和也先生を偲んで
 - 3 ふゆみずたんぼ — 田んぼと農業
 3. 幼小中の連携へ
 4. 地域に根ざした教育
 5. 自立と連携
 6. ESD としてのハチドリ計画
2. 母なる環境としての「ケセン」 …… 22
3. 大谷ハチドリ計画年表 …… 24
(2004 ~ 2011)
4. Ohya Hummingbird Project …… 42
(英語版・大谷ハチドリ計画)



Ohya Hummingbird Project



大谷ハチドリ計画全体図





大谷ハチドリ計画とは何か

1. ハチドリ計画が始まる



あるとき森が燃えていました

森の生きものたちは
われ先にと逃げていきました

でもクリキンディという名のハチドリだけは
いったりきたり
口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは
火の上にと落ちていきます

動物たちがそれを見て
「そんなことをしていったい何になるんだ」
とって笑います

クリキンディはこう答えました
「私は私にできることをしているの」

出典：『私にできること 地球の冷やかた』
辻信一監修（ゆっくり堂）

●地球が燃えている！？

このハチドリの話は、南米のアンデス地方に住む先住民族キチュアに伝わる物語です。この物語の「燃えている森」は、単なる比喩でしょうか。温暖化のために、急速に熱くなっていく私たちの地球のことかもしれませんね。

地球は今、「夏の暑い日にセーターやオーバーを着込んだようなもの」とまで言われています。私たちはどうやら人類の歴史上これまでにない深刻な問題に直面しています。このまま温暖化が進めば私たちの未来はどうなるのでしょうか。そして、この刻々と熱くなっていく地球をどうしたら冷やすことができるのでしょうか。

●自然が壊れていく——松枯れと磯焼け

私たちの町大谷の海岸は、樹齢100年を超える松が

茂り、勇壮な景観を誇っていました。そして、この松のおかげで、海からの風や潮の被害から私たちの暮らしが守られてきたのです。

しかし今、この松が「松枯れ」という感染症のために枯れ果て、海岸には赤茶けた松や、葉も枝も落ちて白骨化した松が立ち並ぶという悲惨な光景が広がっています。

松枯れは、輸入された木材についていたマツノザイセンチュウという1ミリにも満たない小さな虫と、それを媒介するマツノマダラカミキリが感染を広げていることがわかりました。

しかし、松枯れの原因がつきとめられて、そのための対策も懸命に行なわれているのですが、それでも被害を食い止めることができません。このままでは日本から松が消えてしまうと危ぶまれるほど深刻な状況にあるのです。



2004年3月



2008年1月



自然の異変は、松枯れだけではありません。陸上で松が消えていくように、海中でも海藻が消える「磯焼け」が起きていたのです。

磯焼けの海底にはウニが大発生していることから、ウニによる食害が磯焼けの原因と考えられ、ウニを駆除しようとして対策が取られています。

しかし、松枯れの原因とされたカミキリの駆除で被害が止まらないように、ウニを駆除しても磯焼けの解消にはならないのです。

●豊かな生活の果てに

なぜ松枯れや磯焼けを止められないのでしょうか。それぞれの原因をさらに深く調べていくと、その大元には環境の汚染と温暖化があることがわかってきました。

松は、環境の汚染と温暖化のために弱ってしまい、抵抗力を失って松枯れに感染しやすくなっていたのです。人間が体が弱っていると、病気に感染しやすくなるのと同じです。

海藻もまた、海の汚染や温暖化に大きな影響を受けます。水温が1℃上がるだけでも、育たなくなってしまう。また、海面の温度が上がると、深層からの循環が抑えられてしまい、海底の栄養分が表層に届かなくなってしまうのです。

では、松枯れや磯焼けを生み出した環境汚染や温暖化の原因は何でしょうか。それこそ、より便利で快適な生活を求めて、物をたくさん作り、使っては捨てている私たち生活なのです。

私たちが豊かで何不自由ない生活を当たり前のように受けとめていますが、実はそれとひきかえに、地球環

境を悪化させ、果ては私たちの生存をも脅かすような深刻な事態になっていることを忘れてはならないのです。

松枯れで無残にも白骨化した松は、その姿を通して、私たちに人間の未来の姿を予告しているのかもしれない。

●私にできること

地球温暖化だけでなく、私たちが生きている世界は深刻な問題でいっぱいです。そして、問題があまりに大きすぎて無力感を感じてしまうほどです。

大きな山火事の上に水をひとしずくポトリと落とす。それは、「焼け石に水」のように、私たち一人一人の行為は大きな問題の前になんの効果も意味もないもののように見えます。

でも、だからこそ、このハチドリのことを思い出して欲しいのです。私にもできることがある、みんながそう思いはじめた時のことを考えてみてください。

これは決して夢のような話ではありません。地球の温暖化だって、もともとは私たち一人一人の思いや行動が集まって引き起こされたものであるはず。大切なのは、その思いや行動をどちらに向けるかにあるのです。

注：ハチドリ計画は、スローライフを提唱し実践しているNGOナマケモノ倶楽部が立ち上げ、全国でキャンペーンを行いながら参加を呼びかけている活動。地域世話人がナマケモノ倶楽部の会員であることから、同じ名称のもとに連携して取り組んでいる。

(ハチドリ計画のウェブサイト

<http://www.sloth.gr.jp/hachidori/>)

2. 大谷の自然と暮らしを学ぶ

1 松枯れ - 山と林業

● 松枯れはなぜ起こるのか

ハチドリ計画が始まったのは「松枯れ」からです。実際に松枯れの現場を調べてみると、赤茶けた松や白骨化した松がありました。

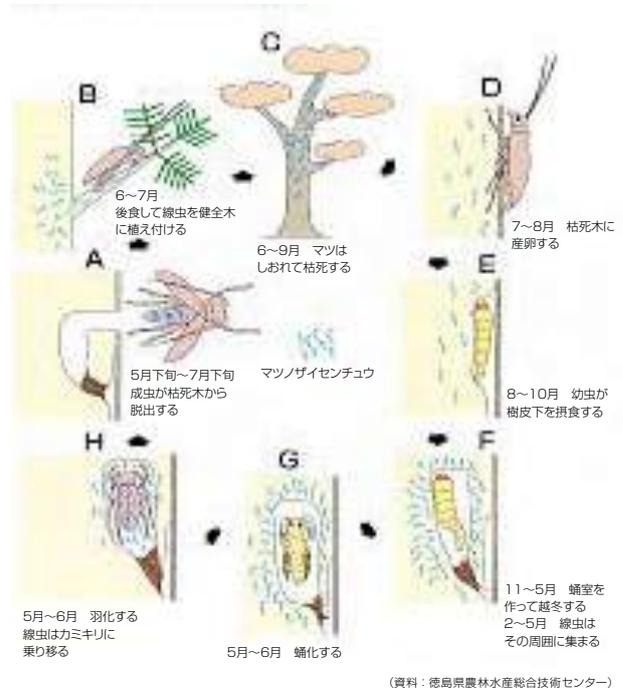
なぜ、このようなことが起きるのだろうか？どうすれば松を守ることが出来るのだろうか？こうして私たちの取り組みが始まりました。

松枯れが発生した当初はその原因がなかなか特定できなかったようです。最近になってようやく、松枯れはマツノザイセンチュウとマツノマダラカミキリという二種類の虫が原因だということがわかりました。マツノザイセンチュウが松枯れを引き起こし、そのセンチュウをマツノマダラカミキリが媒介することで、松枯れが急速に広がっていったのです。

センチュウは輸入した木材から日本の松に感染し、カミキリは温暖化によって北上することで感染を広げているのですが、さらに調べると、この二種類の虫だけでなく、さまざまな問題が関わっていることがわかってきました。(下図)

今問題となっている地球温暖化もその一つです。地球温暖化は化石燃料の大量消費が原因です。化石燃料の消費はまた、環境を汚染し酸性雨をもたらしています。酸性雨は土壌などの生育環境を悪化させ、これも松枯れの原因となっているのです。

【松枯れの仕組み】



マツノザイセンチュウ



マツノマダラカミキリ

